

登録コード	J5110200	開講年度	2026			
授業科目	簿記・会計入門				担当教員	関 利恵子
英文授業名	Bookkeeping & Accounting				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学年
講義室	経法第2講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目	(20・23カリ対象科目) 経：2年/法：3年(23カリは法：2年)
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法23加(2026改)・応用経済, 経法23加・応用経済, 経法20加・応用経済					
	【2020年度以降カリ対象】専門領域での基礎知識として, 経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして, 経済理論の応用分野として, 金融, 公共政策, 法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで, 専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。				簿記・会計領域での基礎知識として, 簿記理論に基づいた思考及び手法を身につけることができるようになる。	
	経法23加(2026改)・総合法律, 経法23加・総合法律					
	法学の専門領域の基礎能力として, リーガルマインドを備え, 現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。				現代社会の諸問題を会計的に解決していく際に必要な簿記・会計理論に基づいた基礎的知識を身につけることができる。	
	環境問題や, 企業や行政の組織内において, 日々生起する諸問題について, 理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち, 総合的に解決していくことのできる能力を身につける。				日々生起する諸問題について, 簿記・会計理論に基づき会計的視点で解決していくことができる能力を身につけることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	簿記・会計入門では、簿記の基本的な仕組みの理解と簿記一巡の手続きを学び全体像を把握したのち、各種取引(商品売買、現金預金取引、有形固定資産取引、債券・債務取引など)、決算手続きについて学ぶ。加えて、会計情報がどのように社会で活用されているかを理解するため、公認会計士による講義を通じて会計の役割について学ぶ。					
(5)授業計画	＊概ね、以下スケジュールで授業をすすめる予定です。 第1回 講義ガイダンス ～簿記・会計とは～ 第2回 簿記の基礎(1) ～簿記の要素・取引と勘定・仕訳と勘定～ 第3回 簿記の基礎(2) 問題演習 第4回 商品売買 第5回 現金預金 第6回 手形・電子記録債権と債務 第7回 中間試験 第8回 有形固定資産 第9回 債権・債務 第10回 資本・税金 第11回 伝票 第12回 会計は何のため? 監査と公認会計士の役割 第13回 決算手続き 試算表・精算表 第14回 決算手続き 決算整理 第15回 決算手続き 財務諸表作成、アンケート 定期試験 ＊第12回は、日本公認会計士協会東京会長野県会による講義を予定しています。					
(6)成績評価の方法	本講義の評価は中間試験、定期試験及び講義内チェック問題の3つで評価をします。評価割合は以下の通り。 中間試験 45% 定期試験 45% 講義内チェック問題 10%(原則、毎回の予定。ただし中間試験、問題演習の回は除く)					
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同じレベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい問題が解ければ「かなり上にある」、さらに難しい問題が解ければ「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	講義は教科書に沿って進めていきます。ガイダンスで示した計画どおりに講義は進められるため、事前学習として、講義前にはレジュメをよく読み用語に慣れておきましょう。講義は、講義とエクセサイズをワンセットとして進めていきます。講義後はワークブックを使用して問題を解き簿記に慣れて知識を確かなものとしてください。					
(9)履修上の注意	本講義内容は、会計学習の基本となります。したがって、高年次履修科目「財務会計」「管理会計」および「公認会計士実習」の内容は「簿記・会計入門」の既修得を前提としたものになります。 会計は専門用語の多い科目です。予習・復習をしっかりとすることが単位取得する近道です。					

(9)履修上の注意	「簿記・会計入門」の試験では、電卓を使用します。試験時には、スマホ・携帯電話・情報端末などの電卓機能の使用は不可となりますので、事前に電卓を入手しておいてください。 連絡事項はe-alpsを通じてアナウンスしますので、定期的に確認してください。
(10)質問,相談への対応	e-mail (seki@shinshu-u.ac.jp)か講義後に受け付けます。 e-mailでの質問には、件名「簿記・会計入門の質問」、本文には必ず学籍番号と氏名をいれて、そのあとに質問事項を記入してください。
【教科書】	渡部・北村・片山『検定簿記ワークブック / 商業簿記3級』中央経済社・880円税込
【参考書】	講義中に適宜指示します。